



第21回 *The 21st Meeting of
Japanese Society of Pediatric Ostomy and Continence Care*

日本小児ストーマ・排泄管理研究会 プログラム・抄録集



会長：溝上 祐子

日本看護協会 看護研修学校
WOC 看護学科専任教員

2007年

4月28日 [土]

**東京大学
鉄門記念講堂**

[医学部教育研究棟14階]

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1



ご 挨拶

(社)日本看護協会 看護研修学校
WOC看護学科

溝上 祐子

このたび、第21回日本小児ストーマ・排泄管理研究会を開催する大役をお引き受けする機会を得ましたことを心から感謝し、身に余る光栄と思っております。また、本研究会の開催にあたりまして多くの関係者の方々、ならびに関係各位から多大なご尽力を賜り、会長として御礼申し上げます。

現在の医療現場ではチーム医療やトータルケアが当たり前となってきましたが、この研究会は設立当初の20年前から医師と看護師が協働して運営してまいりました。それは排泄機能に障害をもつ子供たちにケアを行うには養育的視点や家族看護が重要であり、医師も看護師も専門的知識や技術を得る必要性があったためです。教科書もなく、確立していなかったチーム医療のさきがけを実践し、討論する。こうしたプロセスを経て、現在の医師と看護師などで担うトータルケアが形づいてきました。それぞれの専門家が特化した技術や知識を集結して、こどもと家族のQOL向上を目指すというスタイルです。今回の研究会でもこの流れを汲んだ内容の演題が見受けられ、うれしく思っております。

今回、研究会のテーマを「排泄障害児のライフステージにおける問題」にしました。これは私たちががかかわってきた小児が成人を迎えてきており、人生のイベントをむかえるにあたり、さまざまなハードルを経験するようになってきたからです。特に女性の恋愛・結婚・出産に関する問題は長年、小児医療に携わってこられた方々がわずかに経験するにとどまり、問題の予測や対処が追いついていないのが現状です。今回は同テーマでシンポジウムを企画いたしました。それぞれのシンポジストが経験した貴重な症例をご提示いただき、これからの排泄障害児のケアに活かせる糸口が探れたらと期待しております。また、今回は学術委員会が2年をかけて調査した「本邦のストーマ造設患者例および清潔間欠導尿例の実態調査管理」「低出生体重児のスキンケアの実態調査」の報告があります。はたして小児のストーマ造設は減少しているのか？ 低出生体重児のスキンケアのスタンダードとは？ 結果が気になるところです。さらに貴重な症例報告など一般演題もお申し込みいただきました。4月の末で臨床は忙しい最中ではありますが、この研究会に参加される方と一日を有意義に過ごせますように祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

参加者へのお知らせ

研 究 会：4月28日(土) 9：00～16：50 東京大学 鉄門記念講堂 医学部教育研究棟14階

受 付 時 間：会場は当日午前8：30に開場し、受付を開始いたします。

参 加 費：3,000円

年 会 費：3,000円

●幹 事 会：4月27日 17：00～18：00 医学部教育研究棟13階第6セミナー室

●世 話 人 会：4月27日 18：00～19：00 同上

●世話人懇親会：4月27日 19：00～21：00 医学部教育研究棟13階
ITALTA 家庭料理カポ・ペリカーノ

発表形式についてのご案内

1) **発表形式**：PCによる口演発表のみとします。

2) **口演時間**：すべての演題の発表時間は5分です。

3) **討 論**：一般演題は一演題ごとに5分の討論です。シンポジウムについてはセッション全員の発表後にまとめて質疑応答および討論を行います。一般演題・シンポジウムのセッション振り分けは事前に事務局より送付するプログラムを参照してください。

発表ファイルは当日発表30分前までに以下の形式で受付に提出してください。

- 1) 当日は Windows XP を使用致します。発表ファイルが Windows XP パソコンで閲覧可能かどうか提出前に必ずご確認ください。Mac には対応致しません。
- 2) 使用ソフトウェアは、Microsoft 社 PowerPoint のみです。対応可能バージョンは PowerPoint 2000 及び 2002 です。
- 3) 持ち込み可能な記憶媒体は CD-R (必ずファイナライズされたもの)、USB フラッシュメモリー (パスワードロックをかけてないもの) の 2 種類のみです。
- 4) 特殊なフォントを使用されますと、画面に表示されなかったり文字位置がズレたりする可能性がありますので、使用するフォントは Windows の標準フォントのみとして下さい。
推奨：MS 明朝、MSP 明朝、MS ゴシック、MSP ゴシック、Times New Roman、Arial、Century、Century Gothic
音声の使用には対応しておりません。
- 5) 発表時間が限られているため動画の使用はご遠慮下さい。動画を希望される場合は事前に事務局に連絡して頂いた上、ご自身の PC をご持参下さい。

事 務 局：〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3

(社)日本看護協会看護研修学校 WOC 看護学科内

TEL (042) 492-7459 FAX (042) 492-8653

E-mail：mizokami@kiyose.nurse.or.jp

研究会会場案内 東京大学 鉄門記念講堂 医学部教育研究棟 14階
 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 TEL03-3812-2111



プログラム

受付開始 8:30～

開会の辞 9:00～9:10

溝上 祐子 第21回日本小児ストーマ・排泄管理研究会会長

一般演題 I 9:10～10:10

低出生体重児

司会：窪田 昭男 大阪府立母子保健総合医療センター 外科

山崎 紀江 長野県立こども病院 看護部

1. 超低出生体重児のストーマケア

名古屋第一赤十字病院 桑原 亜弥 他

2. 重症皮膚感染症にストーマ造設された超低出生体重児の創傷ケア

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 砂川 悦子 他

3. 在胎23週の超低出生体重児のミニマルハンドリングに基づいたスキンケア

弘前大学医学部附属病院周産母子センター 石村美枝子 他

4. 低出生体重児に対する用手形成皮膚保護材の使用経験

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 渡部 寛子 他

5. ホリスター未熟児用パウチ使用4事例の検討

北里大学病院 NICU 病棟 岡 園代 他

6. ストーマ脱出に対するケア～オリジナル用品の考案とその使用効果について振り返る～

埼玉県立小児医療センター 横内 美香 他

一般演題Ⅱ 10:10～10:50

尿路管理

司会：山崎雄一郎 神奈川県立こども医療センター 泌尿器科
安蔵 早苗 千葉県こども病院 看護部

7. 尿路変更術を受けた2才女児と母親への援助

～チームでの関わりにより、母親が自ら尿路変更術の選択にいたった症例～

千葉県こども病院 安蔵 早苗 他

8. ミトロファノフ導尿路造設により QOL の向上が図れた思春期プルンベリー症候群症例

～WOC 外来での関わりを通して～

東京都立清瀬小児病院 二ツ橋未来 他

9. 当院における二分脊椎症乳幼児の尿路管理の現状

東京慈恵医科大学 泌尿器科 長谷川雄一 他

10. 回腸導管造設術を受けた小児の一症例

聖路加国際病院 南 由起子

コーヒーブレイク 10:50～11:05

学術委員会報告 11:05～12:00

司会：岩中 督 東京大学 小児外科

G-1. 本邦における外科領域ストーマ造設例の実態調査

広部 誠一 他

G-2. 本邦における泌尿器科領域ストーマ造設例および清潔間欠導尿管管理例の実態調査

浅沼 宏 他

G-3. 本邦における超低出生体重児のスキンケアの実態調査

保刈 伸代 他

一般演題Ⅲ 13:10～13:40

創傷管理

司会：中川 礼子 プリストルマイヤーズ・スクイブ株式会社
宮本 和俊 旭川医科大学病院 小児外科

11. NICU での褥瘡リスクアセスメントにツールを用いて

兵庫県立こども病院 小泉 仁美 他

12. 褥瘡発生要因から学ぶ思春期にある二分脊椎症患者の問題点

～意識改革と行動変容に結びついた自己管理移行期の看護ケア

神奈川県立こども医療センター 高野 里美 他

13. 胃瘻のモレによる難治性合併症に対する外科治療の経験

愛知県心身障害者コロニー中央病院 田中 修一 他

一般演題Ⅳ 13:40～14:30

長期管理における問題

司会：池田 均 独協医科大学越谷病院 小児外科
小山田幸枝 独協医科大学越谷病院 看護部

14. 思春期に入り性の問題が顕著になった総排泄腔外反症への対応

東海大学病院外科学系小児外科学 平川 均 他

15. 排泄機能障害患児と母親の心理状態

東北大学精神科 永田 真一 他

16. 高位鎖肛術後の便失禁に対し肛門用装具が奏効した1事例

近畿大学医学部附属病院 堂本 勝子 他

17. 気管切開患児の成長過程で生じる問題点

千葉県こども病院耳鼻咽喉科 有本友季子 他

18. 国内における小児オストメイト会の現状について

大阪府立母子保健センター 松尾 規佐 他

シンポジウム 14:50～16:40

排泄障害児のライフステージにおける問題

—恋愛・結婚・妊娠・出産—

司会：西島 栄治 兵庫県立こども病院 外科
中井 秀郎 独協医科大学越谷病院 泌尿器科

S-1. 総排泄腔異常術後女性の性と妊娠・出産の諸問題

東京都立清瀬小児病院外科 東間 未来

S-2. 生殖器に未解決領域を残している女性事例

兵庫県立こども病院看護部 鎌田 直子

S-3. 炎症性腸疾患患者の妊娠・出産

旭川医科大学病院看護部 日野岡蘭子

S-4. 排泄障害によるいじめ経験から対人関係形成が不得手な二分脊椎女性の 恋愛から結婚までのプロセス

(社)日本看護協会看護研修学校 溝上 祐子

S-5. 女性二分脊椎症の妊娠と分娩

星ヶ丘厚生年金病院泌尿器科 百瀬 均

閉会の辞 16:40 岩中 督 日本小児ストーマ・排泄管理研究会代表世話人

次回会長挨拶 窪田 昭男 第22回日本小児ストーマ・排泄管理研究会会長

終了 16:50

學術委員會報告

本邦における外科領域ストーマ造設例の実態調査

日本小児ストーマ・排泄管理研究会学術委員会

広部 誠一、浅沼 宏、中井 秀郎、山崎雄一郎、上岡 克彦、
大野 康治、西島 栄治、保刈 伸代、中川 礼子、日野岡蘭子、
渡部 寛子、和田 美香、池田 均(副学術委員長)、
溝上 祐子(学術委員長)、岩中 督(代表世話人)

本邦におけるストーマ造設数の動向について実態調査し、今後の排泄障害児のケアのニーズを明らかにする目的で、日本小児外科学会認定施設を対象にアンケート調査を施行した。小児外科45施設より回答を得たので、その結果を分析し報告する。

【報告内容】

過去3年間の次に該当するストーマ造設件数

気管切開孔・食道瘻・胃瘻・小腸ストーマ・結腸ストーマ・洗腸用ストーマ(MACE
など)

その他(注入用ストーマ)

次に該当するストーマの保有患者数

気管切開孔・食道瘻・胃瘻・小腸ストーマ・結腸ストーマ・洗腸用ストーマ(MACE
など)

その他(注入用ストーマ)

本邦における泌尿器科領域ストーマ造設例 および清潔間欠導尿管管理例の実態調査

日本小児ストーマ・排泄管理研究会学術委員会

浅沼 宏、広部 誠一、中井 秀郎、山崎雄一郎、上岡 克彦、
大野 康治、西島 栄治、保刈 伸代、中川 礼子、日野岡蘭子、
渡部 寛子、和田 美香、池田 均(副学術委員長)、
溝上 祐子(学術委員長)、岩中 督(代表世話人)

本邦におけるストーマ造設数の動向について実態調査し、今後の排泄障害児のケアのニーズを明らかにする目的で日本小児泌尿器科学会評議員施設を対象にアンケート調査を施行した。小児泌尿器科30施設より回答を得たので、その結果を分析し報告する。

【報告内容】

過去3年間の次に該当するストーマ造設件数

腎瘻(カテーテル)・尿管皮膚瘻・回腸(結腸)導管・膀胱瘻(カテーテル)

禁制ストーマ(ミトロファノフ法など)・

膀胱皮膚瘻・その他(尿道カテーテルなど)

次に該当するストーマの保有患者数

腎瘻(カテーテル)・尿管皮膚瘻・回腸(結腸)導管・膀胱瘻(カテーテル)

禁制ストーマ(ミトロファノフ法など)・

膀胱皮膚瘻・その他(尿道カテーテルなど)

過去3年間で15歳以下で清潔間欠導尿法を導入した患者数

清潔間欠導尿管管理を行っている患者数

本邦における超低出生体重児の スキンケアの実態調査（第一報）

日本小児ストーマ 排泄管理研究会学術委員会

保刈 伸代、浅沼 宏、上岡 克彦、大野 康治、中井 秀郎、
中川 礼子、西島 栄治、日野岡蘭子、広部 誠一、山崎雄一郎、
渡部 寛子、和田 美香、溝上 祐子（学術委員長）、
池田 均（副学術委員長）、岩中 督（代表世話人）

【目的】本邦における低出生体重児に発生するスキントラブルや創傷の形態・頻度・対処方法について実態調査し、低出生体重児のスキントラブルとその要因を明確にし、今後の低出生体重児のスキントラブルや創傷の予防的ケア指針を作成する。

【対象】全国の日本未熟児・新生児学会基幹研究施設・指定研修施設 246 施設

【方法】上記施設の NICU 看護管理者あてに質問紙を郵送

【質問内容】スキントラブルの発生状況・トラブル時のケア・予防的ケアに関連した全 52 項目

【調査期間】2006 年 7 月～9 月

【結果】アンケート回収総数：111 回収率：45.12%

※但し、回答を得たアンケートの中でも記載されていない項目がある場合もあり、質問項目毎に有効な回答を得たものを集計とした。

今回は、主な項目に関して報告する。

- ① NICU ベッド数：施設平均 9.29 床
- ② 平成 17 年度の超低出生体重児の年間症例数：施設平均 13.35 例
- ③ うち、なんらかのスキントラブルの発生症例数：施設平均 4.05 例 (30.34%)
- ④ スキントラブルが全身状態悪化の原因となるケースがあるか：35.51%
- ⑤ スキントラブルの発生頻度の高い部位（複数回答）：

耳 介 75：69.44%

陰 部 臀 部 62：57.41%

頸 部 38：35.19%

腋 窩 33：30.56%

点滴固定部 32：29.63%

超低出生体重児において、スキントラブルの発生率は 30.34% と高く、全身状態悪化の原因となるという回答が 35.51% という結果から、予防的スキンケアは超低出生体重児ケアの中で重要事項の一つであることが示唆された。また、皮膚密着部位におけるスキントラブルの発生が多く、骨突出部の発生は少ないという点で、成人の褥瘡予防ケアと同様の視点では不十分であるといえる。

シンポジウム

排泄障害児のライフステージにおける問題 －恋愛・結婚・妊娠・出産－

司会：西島 栄治 兵庫県立こども病院外科
中井 秀郎 独協医科大学越谷病院泌尿器科

S-1. 総排泄腔異常術後女性の性と妊娠・出産の諸問題

東京都立清瀬小児病院外科 東間 未来

S-2. 生殖器に未解決領域を残している女性事例

兵庫県立こども病院看護部 鎌田 直子

S-3. 炎症性腸疾患患者の妊娠・出産

旭川医科大学病院看護部 日野岡蘭子

S-4. 排泄障害によるいじめ経験から対人関係形成が不得手な二分脊椎女性の 恋愛から結婚までのプロセス

(社)日本看護協会看護研修学校 溝上 祐子

S-5. 女性二分脊椎症の妊娠と分娩

星ヶ丘厚生年金病院泌尿器科 百瀬 均

総排泄腔異常症術後女性の性と 妊娠・出産の諸問題

東京都立清瀬小児病院 外科

東間 未来、鎌形正一郎、広部 誠一、吉田 史子、奥村 健児、
武藤 充、岡部 圭介、林 隼

同泌尿器科

穴戸清一郎、浅沼 宏

同WOC外来

溝上 祐子

【はじめに】総排泄腔異常症（本症）術後の女性は内性器異常や膣形成に伴う月経、性交の問題を生じることがある。当院で経験した本症術後の2女性を通して、本症における思春期以降の問題点を考察した。

【症例1】36歳。低位本症に対して1歳時に根治術施行。20歳で結婚したが不妊のため婦人科受診し双角子宮と診断を受けた。子宮形成術を受けて自然妊娠、帝王切開で女兒を出産した。

【症例2】23歳。高位本症に対して1歳時に根治術施行。術後膣狭窄から尿道膣瘻を形成した。思春期以降外来通院が途絶えていたが、この度再診し恋人との性交がうまくいかないことが判明した。

【考察】症例1、2の共通点として小児外科の外来通院は終了しており、本人は性的な問題が生じて初めて自身の疾患について知らされていた。その中で、症例1は婦人科を受診したことから問題が解決し出産することができたが、症例2は相談できる相手がいまま苦しんでいた。術後排泄管理や腎機能が安定して通院頻度が低下する中で、両親が疾患について本人に説明できなかつたり、医師との間で性的な問題に関するコミュニケーションがなかったためにこの問題は置き去りにされた感は否めない。この問題については本人が自身の状態を理解した上でどのような性を望むのかが優先事項であると思われ、経過観察の中で思春期以降の諸問題に関して自由に話せる場を作ること、婦人科との連携をつくることが重要である。

生殖器に未解決領域を残している女性事例

兵庫県立こども病院 看護部

鎌田 直子

同小児外科

西島 栄治

① 患者のデータベース

症例1：21歳女性 総排泄腔外反症 右腎欠損、左水腎水尿管症、脊髄脂肪腫

4生日：回腸ストーマ作成、膀胱形成、腹壁形成。月齢6ヶ月：尿管皮膚瘻（難治性尿路感染）。月齢7ヶ月：脂肪脊髄髄膜瘤修復、脊髄脂肪腫摘出。5歳7ヶ月：膣形成（膀胱利用）、代用膀胱形成（胃利用）、導尿路作成、両側卵巢温存、両卵管子宮膣吻合。13歳6ヶ月：腹痛出現、腹痛の定期化（1～2ヶ月毎）14歳7ヶ月：左子宮膣側々吻合、左卵巢囊腫開窓術（unroofing）、inclusion cyst 被膜除去、膣分泌物除去、膣入り口拡大術、術後、定期的な月経出現。

症例2：20歳女性 総排泄腔外反症被覆型 脊髄脂肪腫

0生日：回腸ストーマ作成（短小腸70cm、脊髄脂肪腫）。月齢7ヶ月：大腸間置術付加ストーマ再作成。5歳8ヶ月：脊髄脂肪腫切除。6歳7ヶ月：膣形成（盲腸利用）、膀胱拡大術（結腸利用）、導尿路作成、両側卵巢温存、両重複子宮膣吻合11歳2ヶ月：胆嚢切除（胆石症）、総胆管結石除去。13歳6ヶ月：腹痛出現、膣分泌物排除、膣拡張術。14歳7ヶ月：右腹部痛、右卵巢囊腫開窓術（unroofing）、右子宮膣再吻合術、inclusion cyst 被膜除去、膣分泌物除去、膣入り口拡大術、術後、定期的な月経出現。16歳11ヶ月：左卵巢囊腫開窓術、左子宮膣再吻合術、膣入り口拡大術

② 恋愛の状況

症例1：19歳6ヶ月：ストーマ・排泄外来にboy friendと二人で受診し自分の身体、Sexはできるか、妊娠、出産、病気の遺伝について質問があった。20歳3ヶ月：泌尿器科受診、膣入り口拡大術について説明を受ける。現在大学3年生。

症例2：19歳3ヶ月：ストーマ・排泄外来受診時にboy friendがいること、Sexできる膣にしたいことを話す。こどもを作れるか？について質問があった。現在看護学校2年生。

③ 対応の実際

症例1：膣入り口拡大術、術後にケアが必要なことを説明を受ける。

症例2：16才の手術後より膣ブジーと膣洗浄を行なっている。

④ 結果

症例1：手術について思案中

症例2：膣はヘガール25号まで拡張可能。今後30号を目標に拡張予定。

⑤ 問題提起

- ・月経血流出のための手術、膣再建手術の技術
- ・手術後のケアが必要なこと（定期的なブジー、洗浄は精神的なストレスになる可能性）
- ・恋愛、結婚に対する心のケアの必要性
- ・専門家の育成とサポートチーム

演題抄録

1

超低出生体重児のストーマケア

名古屋第一赤十字病院 NICU
桑原重弥、山田美由紀、作間千夏、松本博子
同 E. T
園田玲子

在胎27週2日、出生体重736g、鎖肛と診断され生後1日目で人工肛門造設術を施行した患児の看護を行った。通常は隆起状に形成されるストーマが本児では平坦であったため、パウチ内に排泄物が流入せず、スキンケアは困難なものとなった。試行錯誤を繰り返したケアの実際について報告する。

- 1案 生後1日目～42日目（板状皮膚保護剤（A剤）+採尿袋）：NICUスタンダード
- 2案 生後42日目～45日目（A剤+採尿袋+ポリマー）：水様便吸収促進する
- 3案 生後45日目～66日目（A剤+経皮モニターリング（人工隆起）+採尿袋）：水様便を保護剤上部に排出する
- 4案 生後66日目～（板状ハイドロコロイドドレッシング剤（B剤）+ジッパー付きビニール小袋+ポリマー入りドーナツガーゼ+皮膚石鹸清拭の徹底）：保護剤を皮膚の状態で選択する・袋と皮膚面との接触を最小限にする・ストーマ近縁の便、便汁の汚染を最少にする・保清をはかる

1案から4案を実施し、スキントラブルなく生後196日にストーマ閉鎖となった。

2

重症皮膚感染症にストーマ造設された超低出生体重児の創傷ケア

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター WOC 認定看護師
砂川悦子
同 NICU
上原幸代、久高公子、長濱智恵子、砂辺真紀子、新垣 香
同小児外科
仲間 司、金城 僚、大庭千明

低出生体重児の皮膚は脆弱で、細菌感染から死に至る重篤な感染症に進展しやすく、皮膚感染症は死亡の大きな要因である。今回、重症皮膚感染症を合併した超低出生体重児のケアを経験したので報告する。症例は24週0日、672gにて出生。日齢1排泄物の汚染により腹部の皮膚は発赤・ビランが出現し、全身状態は急速に悪化、敗血症と診断された。日齢2皮膚症状は黒色壊死組織を認め上腹部～臀部へと広範囲に及んだ。培養にて緑膿菌が検出された。創傷被覆材の使用、洗浄にて局所管理を行い、皮膚は改善傾向を認めたが、日齢10壊死性腸炎で腸管穿孔を来とし、翌日にイレオストミーが造設された。術後はストーマからの排泄物による創汚染を回避するために以下の事を行った。排泄物の回収の為に、①高分子吸収体の使用による排泄物の固形化、②耐久性のある保護材へ変更、③限られた貼布面積に応じた面板のカット、パウチの向き等の工夫を重ねた。母乳量の増加により栄養状態の改善が得られ、日齢40創傷治癒に至った。

本症例を通して、治癒過程に応じた被覆材、創洗浄等の手技の統一、イレオストミー管理の重要性を再認識した。

3

在胎23週の超低出生体重児のミニマルハンドリングに基づいたスキンケア

弘前大学医学部附属病院周産母子センター
石村美枝子、比内昭子、工藤優子、佐々木幸子
同小児外科
須貝道博、棟方博文

【目的】在胎24週未満の超低出生体重児の皮膚はゼラチン様で非常に未熟であるため、感染防止の面からスキンケアは重要である。今回在胎23週で出生した超低出生体重児消化管穿孔に対し、スキンケア、ストーマケアを行う機会を得、若干の知見を得たので報告する。

【症例】在胎23週で出生した男児で、出生時体重は579gであった。生後4日目に消化管穿孔にて回腸部分切除術、回腸ストーマ造設術が施行された。術後のスキンケアやストーマケアに影響を及ぼす因子としてはモニター類の電極や保育器の温度、湿度、シーツの皺、児に触れる回数などが上げられた。電極部分を小さくカットしガーゼを皮膚との間に挟み込むこと、状態が安定するまで体重測定やシーツ交換を行わないなどミニマルハンドリングに基づいたケアを行うことが有効であった。ストーマケアに関してはゼラチン様の皮膚であっても既存の保護シートの使用が可能であった。しかし、保育器の温度、湿度が高いと保護シートの溶解が早いなど、保育環境を考慮した保護剤の選択が必要であった。超低出生体重児の狭小な腹壁や小さなストーマへの対応については手作りのストーマ用品で、ストレスを最小限にし、全身状態を良好に保ち、スキンケアの一部としてストーマケアの基本を守って実践することが重要と考えられた。

【結論】ストーマ部位にはスキントラブルがなかったことにより、皮膚保護剤が在胎23週の超低出生体重児の皮膚にも効果的であった。

【キーワード】在胎23週、超低出生体重児、スキンケア、ストーマケア、ミニマルハンドリング

4

低出生体重児に対する用手形成皮膚保護材の使用経験

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 看護部
渡部寛子、高塚美紀
同小児外科
川瀬弘一
同小児科
吉馴亮子

【はじめに】低出生体重児のストーマケアは、貼りかえ頻度を少なくしかも剥離刺激を最小限にすることが期待されている。今回、カラヤ系装具と用手形成皮膚保護材を併用することで剥離刺激軽減と耐久性を得ることができた為報告する。

【症例】女児／在胎週数32週／出生時体重952g／胎便栓症候群・小腸穿孔にて生後21日（修正35週）1015g時に回腸人工肛門を造設した。

【実施・結果】小腸液への皮膚保護材の耐久性を高める為、用手形成皮膚保護材（アダプト皮膚保護シール[®]）をストーマ周囲に少量貼付し、その上からカラヤ系保護材の装具（プロケア1ポストオペ[®]）を保護材周囲を切り貼付面積を最小限として貼付し、中1日での交換を行った。剥離時はオリブ油を使用し糊残りはほとんどなかった。その後哺乳量の増加・数箇所腹壁ヘルニアの発生・腹部静脈瘤の出現があったが、剥離刺激の少なさと追従性の良さから装具は変更せず、連日の交換となるも著名な皮膚トラブルは生じなかった。

【考察】用手形成皮膚保護材は耐久性を期待する部分やバックリングフィルムからのストーマ粘膜保護目的に使用することができる。更に、今回使用したアダプト皮膚保護シールは、その特性である「軟らかさ」と「糊残りの少なさ」から低出生体重児のストーマケアに有効であった。

日本小児ストーマ・排泄管理研究会会則

(平成14年2月1日改正)

第 1 条 (名称)

本会は、日本小児ストーマ・排泄管理研究会 (Japanese Society of Pediatric Ostomy and Continence Care) と称する。

第 2 条 (目的)

小児ストーマケア、排泄管理および創傷管理の向上と普及、これらの管理や治療に用いる用品の開発と普及、ならびにこれらの病態に関する研究を目的とする。

第 3 条 (事業)

本会は、下記のことを行うものとする。

1. 年1回の学術研究会を開催する。開催地、日時は日本ストーマリハビリテーション学会と関連をもつことを原則とする。但し、会長が本会の目的にかなうと判断した場合には、日本ストーマリハビリテーション学会と別の場所、期日に学術研究会を開催できる。
2. 学術研究会の記録を日本ストーマリハビリテーション学会誌に掲載する。
3. その他、第2条の目的を達成するための事業を行う。

第 4 条 (会員)

1. 本会の会員は、医師、看護師、その他の医療従事者を正会員とする。ストーマ用品メーカーに属する上記以外の職種のもは準会員とする。
2. 本会正会員のうち、本会の発展に多大の貢献をなしたものから、代表世話人が幹事会および世話人会の議を経て推薦するものを、特別会員とすることができる。特別会員は会費の納入を要しない。
3. 特別会員は世話人会に出席することが出来、意見を具申することが出来るが、世話人会における議決権を有しない。

第 5 条 (役員)

1. 本会に下記の役員をおく。

代表世話人	1名
会 長	1名
副 会 長	1名
幹 事	8名(医師4名、看護師4名)
監 事	2名
世 話 人	若干名

2. 代表世話人は、世話人会の互選によって世話人会で定められ、会務を統轄、執行する。幹事会・世話人会を主催し、幹事会の議長を務める。任期は4年とする。ただし、連続3期の再任は出来ない。
3. 会長は世話人の承認を経て副会長が昇任し、学術研究会を主催する。会長はその任期中は幹事とし世話人会の議長を務める。
4. 副会長は、世話人の互選により世話人会で選出され、会長を補佐する。副会長はその任期中は幹事とする。
5. 幹事は、世話人会に出席している世話人による選挙で会員中の候補者から選ばれる。幹事になろうとするものは、代表世話人にその意志を届け出るものとする。幹事は幹事会を組織し、世話人会の権限に属する以外の事項について審議し、代表世話人を補佐する。幹事会は必要などときには委員会を設置して幹事会を補佐させることが出来る。幹事選挙は、医師候補者の中から2名連記、看護師候補者の中から2名連記する無記名投票で2年ごとに行う。幹事の任期は4年とし、2年ごとにそれぞれの半数を改選する。連続3期上の再任は出来ない。
6. 監事は、世話人会に出席している世話人による選挙で会員中の候補者から選ばれ、財産の管理、代表世話人と幹事の会務執行を監査し、幹事会に出席する。監事になろうとするものは、代表世話人にその意志を届け出るものとする。監事選挙は候補者の中から単記無記名投票で行う。監事の任期は4年とし、2年ごとに1名を改選する。再任は出来ない。
7. 世話人には、その意志を代表世話人に書面で届け出、世話人会で承認された会員がなることが出来る。世話人は世話人会に出席し、代表世話人、幹事、監事と副会長の選出、その他代表世話人から諮問された事項について審議・決定を行う。連続して3回世話人会を欠席した場合、あるいは連続して3年以上世話人会費を納入しなかった場合には原則としてその資格を失う。

第 6 条（委員会）

幹事会は必要に応じて委員会を設置し、会員の中から委員長、委員を任命することが出来る。
委員会は諮問された事項について年一回以上幹事会に報告しなければならない。

第 7 条（会費）

会員は、年会費を納めるものとする。年会費の額は、世話人会で決定する。世話人は、その他に世話人費を分担する。その額は、世話人会において決定し、付則に記載する。

第 8 条（入会および退会）

1. 入会を希望するものは、その旨を事務局に書面で届け、会費を納入する。
2. 退会を希望するものは、その旨を事務局に届け出なければならない。
3. 3年間会費を納入しないものは原則として退会とみなす。

第 9 条（議決）

幹事会の成立には構成員の2/3以上の、世話人会の成立には構成員の半数以上（委嘱状を含む）の出席を要する。

幹事会、世話人会の議決は、それぞれ出席者の過半数で決定し、同数の場合は議長が決する。

第 10 条（事務局）

本会の事務局を下記におく。

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学医学部小児外科内

第 11 条（会則変更）

本会則の変更は、全世話人の3分の2以上（委嘱状を含む）が出席する世話人会において、世話人会出席者の過半数の同意を必要とする。

付則

1. 会費は 3,000円とする。
2. 世話人は、上記の他、世話人費2,000円／年を分担する。
3. 会計年度は1月1日から12月31日までとする。
4. 本会則は、昭和62年2月8日より実施する。
5. 本会則は、平成10年5月8日に改正する。
6. 本会則は、平成14年2月1日をもって上記のごとく改正し発効する。

連絡

会費・世話人費の納入方法

郵便局に日本小児ストーマ・排泄管理研究会の口座を開設してあります。

郵便振替口座番号 00130 - 8 - 39137

名称 日本小児ストーマ・排泄管理研究会

領収証は郵便局の受領印で代えさせていただきます。

日本小児ストーマ・排泄管理研究会事務局

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学医学部小児外科内

代表世話人 岩中 督

事務局長 金森 豊

電話 03-5800-8671

日本小児ストーマ・排泄管理研究会 世話人名簿

2007年3月20日現在 ○は幹事、◎は監事、*は未承認、☆は代表世話人

[特別会員] 中條 俊夫 川村 猛 真家 雅彦

外科

施設名	医師側	看護職側
北海道		
旭川医科大学第一外科	宮本 和俊	日野岡蘭子
北海道大学 小児外科	佐々木文章	
東北		
弘前大学小児外科	須貝 道博	* 相馬 博子
東北大学小児外科	林 富	* 三谷 綾子
山形大学第二外科	山際 岩雄	
岩手医科大学小児外科	水野 大	千葉 励子
関東甲信越		
新潟大学小児外科	窪田 正幸	
群馬県立小児医療センター	鈴木 則夫	中村 孝子
公立藤岡総合病院	長嶋起久雄	
千葉大学小児外科	大沼 直躬	
千葉県こども病院	岩井 潤	上加世田豊美
埼玉県立小児医療センター	* 北野 良博	大里 則子
獨協医科大学越谷病院小児外科	◎池田 均	小山田幸枝
さいたま市立病院小児外科	○中野美和子	
埼玉医科大学小児外科	大野 康治	* 松岡 美木
帝京大学小児外科	小川 富雄	
日本大学小児外科	草深 竹志	
東京都立清瀬小児病院外科	広部 誠一	末吉 康子
山梨大学医学部看護学科		石川真里子
東京大学小児外科	☆ 岩中 督	小柳 礼恵
慶応義塾大学外科	森川 康英	佐内結美子
東京慈恵会医科大学外科第一	未定	
東邦大学医療センター大森病院小児外科	中村 博志	◎ 保刈 伸代
国立成育医療センター外科	森川 信行	* 三隅 裕美
杏林大学小児外科	伊藤 泰雄	宇土多美子
日本赤十字社医療センター小児外科	石田 和夫	佐々木貴代
聖マリアンナ医科大学小児外科	* 北川 博昭	田村 順子
神奈川県立こども医療センター外科	武 浩志	市六 輝美
北里大学外科	田中 潔	
北里大学東病院外科		松原 康美
東海大学第二外科	上野 滋	
山梨大学医学部第二外科	高野 邦夫	
山梨県立中央病院小児外科	久保 雅子	
長野県立こども病院	百瀬 芳隆	○ 山崎 紀江
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院小児外科		渡部 寛子
順天堂大学医学部附属順天堂医院		石田 弘美

施設名	医師側	看護職側
東海		
静岡県立こども病院外科	長谷川 史郎	木村 真子
名古屋大学小児外科	安藤 久寛	山下 一味
名古屋市立大学第一外科	鈴木 達也	
藤田保健衛生大学小児外科	橋本 俊	
独立行政法人国立病院機構長良医療センター	鴻村 寿	栗本 淳子
愛知県コロニー中央病院小児外科	加藤 純彌	
北陸		
富山大学第二外科	塚田 一博	
金沢医科大学小児外科	伊川 廣道	
近畿		
神戸大学小児外科	前田 貢作	
近畿大学外科	八木 誠	堂本 勝子
大阪府立母子保健総合医療センター外科	窪田 昭男	田中はるみ
大阪市立総合医療センター小児外科	中村 哲郎	未定
兵庫県立こども病院外科	○西島 栄治	鎌田 直子
京都橘大学 看護教育研修センター		加藤 好美
関西医科大学小児外科	濱田 吉則	
奈良県立医科大学第一外科	金廣 裕道	
和歌山医科大学第二外科	瀧藤 克也	
淀川キリスト教病院小児外科	塩川 智司	
大阪府庁大阪府健康福祉部医療対策科		村田 瑞穂
中国		
鳥取大学救急部	清水 法男	
広島大学総合診療部	檜山 英三	未定
国立療養所柳井病院	田村 泰三	
四国		
香川大学小児外科	渡辺 泰宏	
愛媛大学第二外科	宮内 勝敏	
九州		
九州大学小児外科	田口 智章	和田 美香
福岡市立こども病院外科		
久留米大学小児外科	八木 実	
長崎大学第一外科	大島 雅之	
長崎大学医療技術短期大学		宮下 弘子
熊本赤十字病院	寺倉 宏嗣	
武雄市立武雄市民病院		○江口 忍
プリストマイヤー コンパティック スクイブ(株)		○中川 礼子
沖縄		
沖縄県立南部医療センターこども医療センター小児外科	仲間 司	砂川 悦子

泌尿器科

施設名	医師側	看護職側
北海道		
北海道大学泌尿器科		林 みゆき
旭川医科大 泌尿器科	柿崎 秀宏	
東北		
宮城県立こども病院	坂井 清英	
関東甲信越		
新潟大学泌尿器科	未定	
千葉県こども病院泌尿器科	長 雄一	安蔵 早苗
東京都立清瀬小児病院泌尿器科	浅沼 宏	
獨協医科大学越谷病院泌尿器科	○中井 秀郎	
東京女子医科大学腎臓総合医療センター	未定	
国立成育医療センター泌尿器科	上岡 克彦	
東京慈恵会医科大学泌尿器科	未定	
日本看護協会 看護研修学校		○溝上 祐子
神奈川県立こども医療センター泌尿器科	山崎雄一郎	
北里大学泌尿器科	宋 成浩	
信州大学泌尿器科	井川 靖彦	
前橋赤十字病院	* 松尾 康滋	
近畿		
兵庫県立こども病院泌尿器科	杉多 良文	
大阪府立母子保健総合医療センター泌尿器科	島田 憲次	大野真理子
星ヶ丘厚生年金病院泌尿器科	百瀬 均	菅井亜由美
九州		
福岡大学泌尿器科		梶西ミチコ

学術委員会

溝上 祐子 (委員長)

池田 均 (副委員長)

浅沼 宏、上岡 克彦、大野 康治、中井 秀郎、中川 礼子、西島 栄治、
日野岡蘭子、広部 誠一、保刈 伸代、山崎雄一郎、渡部 寛子、和田 美香

装具等検討委員会

石川真理子 (委員長)

高野 邦夫 (副委員長)

安蔵 早苗、市六 輝美、鎌田 直子、左内結美子、佐々木貴代、宮本 和俊、
八木 実、山崎 紀江

第21回 日本小児ストーマ・排泄管理研究会

会 長：溝上 祐子

事務局：〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3

(社)日本看護協会看護研修学校 WOC 看護学科内

TEL (042) 492-7459 FAX (042) 492-8653

印 刷：Next COMPANY **Secand** 株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL 096-382-7793 FAX 096-386-2025



日本看護協会ビル

日本が誇る世界的建築家である黒川紀章氏の設計で2004年に竣工した。総ガラス張りの斬新なデザインが原宿表参道のランドマークとなっている。

● お問い合わせ

第21回 日本小児ストーマ・排泄管理研究会 会長 溝上 祐子

〒204-0024 東京都清瀬市梅園1-2-3
(社)日本看護協会 看護研修学校 WOC看護学科内
TEL (042)492-7459 FAX(042)492-8653
E-mail: mizokami@kiyose.nurse.or.jp